

2017年度本決算説明（総括）

2018年2月14日

株式会社 クラレ

2017年度実績①

	当期実績	前年同期実績	増減
売上高	5,184 億円	4,852億円	333億円(6.9%)
営業利益	751億円	678億円	73億円(10.7%)
経常利益	730億円	662億円	68億円(10.3%)
親会社株主に帰属 する当期純利益*	536億円	404億円	132億円(32.7%)

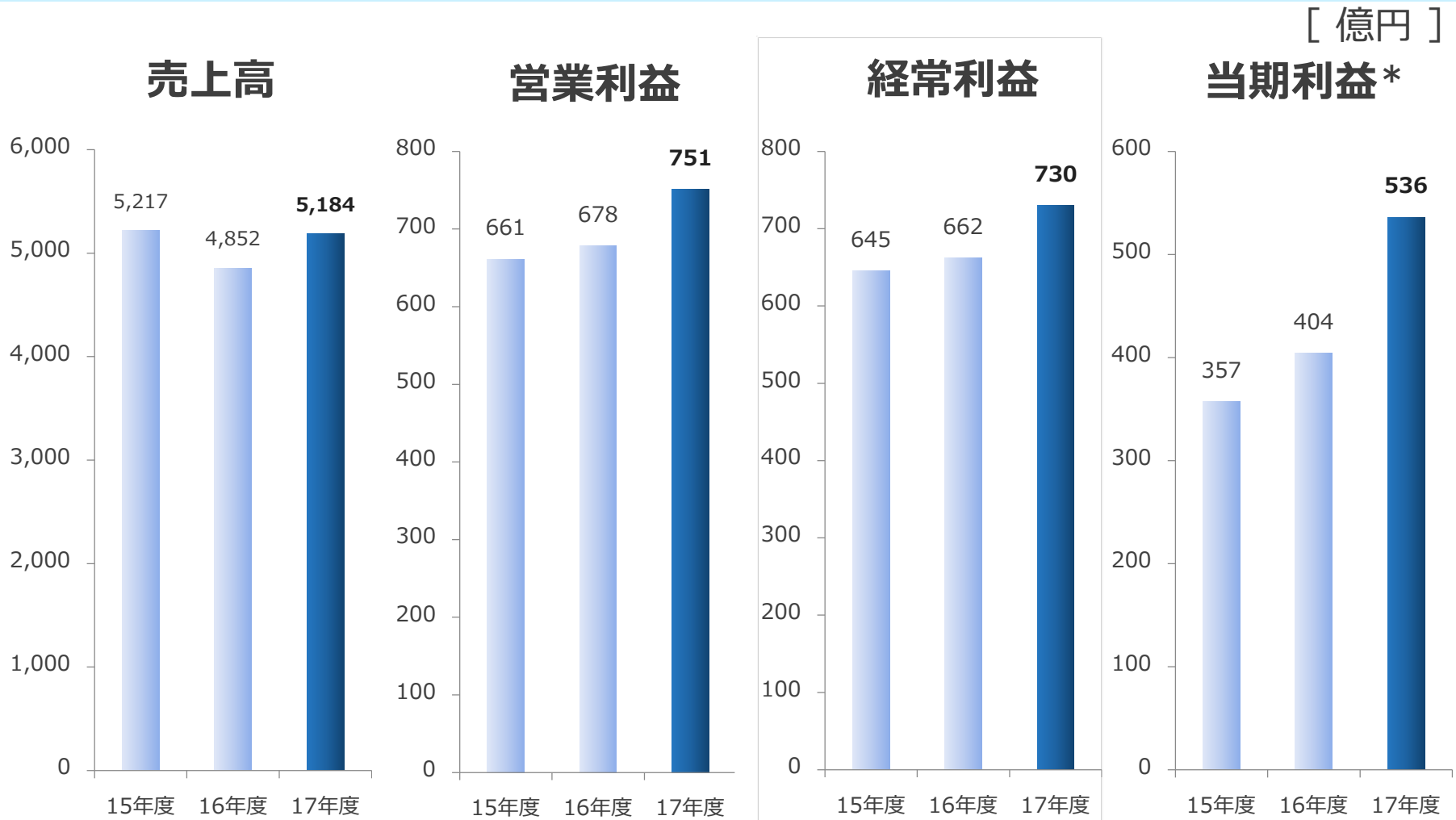
* 17年度実績：米国減税影響+75億円

参考

円/ドル	112	109
円/ユーロ	127	120
国産ナフサ価格 (千円/kl)	39	33

2017年度実績②

営業利益、経常利益、当期利益*とも過去最高を更新



*親会社株主に帰属する当期純利益

2017年度の主要施策実績

「GS-STEP」の主要経営戦略に基づき下記の施策を実施

コア事業の 深耕

- ◆ポバール樹脂、北米工場の本格稼働およびグローバルでの最適生産の検討を実施
- ◆光学用ポバールフィルム+20百万m²/年 設備稼働開始(西条事業所)
- ◆水溶性ポバールフィルムの米国における生産能力増強を決定
→2018年上期に新設備の稼働を開始予定

技術革新

- ◆フィルム製品の原料樹脂開発により高機能化を推進

次世代成長 モデル

- ◆炭素材料事業部の強化、カルゴンカーボン社の買収を決定

経営資源の 最適配置

- ◆グローバルSAPシステムの導入
→一部海外拠点で年内に運用を開始
- ◆グローバル人事システム
→2017年1月運用開始

2018年度通期業績予想

	2018年度予想	2017年度実績	増減
売上高	5,400億円	5,184億円	216億円
営業利益	770億円	751億円	19億円
経常利益	750億円	730億円	20億円
親会社株主に帰属 する当期純利益	490億円	536億円	▲46億円

国産ナフサ／kl

43千円

39千円

ドル（平均）

110円

112円

ユーロ（平均）

130円

127円

2018年度重点課題

新中期経営計画「PROUD2020」の主要経営戦略に基づく具体的施策を実施

競争優位の 追求

- ◆エバル、PVBフィルム、水溶性ポバールフィルム新設備のスムーズな立ち上げ
- ◆イソプレン、タイ新プラント投資の早期決定
- ◆新興国市場での需要発掘及び拡大
- ◆コーポレートマーケティング機能の強化

新たな事業 領域の拡大

- ◆新事業の創出及び早期拡大
- ◆製品にサービスの提供を組み合わせたビジネスの創出

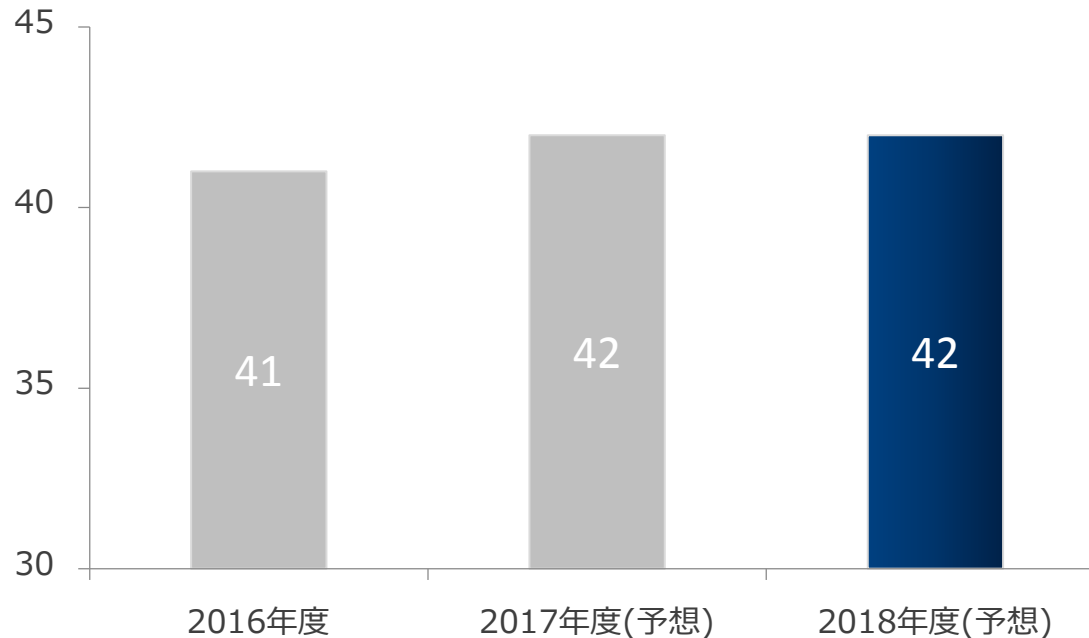
グループ 総合力強化

- ◆カルゴンカーボン社との融合を推進
- ◆グローバルSAPシステムを順次導入
- ◆働き方改革の取り組み強化

配当金について

17年度：42円/株予定
(中間：20円、期末：22円)

18年度：42円/株予定
(中間：20円、期末：22円)



■自己株式取得について

・2017年度実績(2017年11月9日～12月5日)

—取得株式総数：1,300,000株 株式取得総額：2,882,967,499円

2017年度決算説明

2018年2月14日

株式会社 クラレ

セグメント別売上高・営業利益

[億円]

	2017年度		2016年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	2,669	613	2,532	585	137	28
イソプレン	564	84	511	69	53	15
機能材料	699	75	680	45	19	30
繊維	517	60	486	60	31	0
トレーディング	1,288	39	1,195	38	93	1
その他	542	33	463	14	79	19
調整額	▲1,095	▲153	▲1,014	▲133	▲81	▲20
合計	5,184	751	4,852	678	333	73

2017年度主要事業概況

ポ°ハール樹脂	米国新工場の本格稼動により、北米市場を中心に販売量が増加し、順調に推移
ポ°ハールフィルム	光学用ポハールフィルムは販売量が増加。また、2017年度上期より西条の新設備が稼動を開始。水溶性ポハールフィルムは個包装洗剤用途の需要が拡大し、好調に推移
PVBフィルム	高付加価値品の拡販が進んだ
<Iハール>	自動車ガソリンタンク用途、食品包装用途ともに販売量が増大
イソプレ	ファインケミカル、<セプトン>及び液状ゴムともに数量が伸長し、順調に推移
<ジエネスタ>	自動車用途、コネクタ用途、LED反射板用途のいずれも販売が増大し、順調に推移
メタクリル	一年を通じた好市況に加え、高付加価値品の販売が増加
メデイカル	歯科材料のジルコニア系新素材の販売が増大
<クラリーノ>	既存プロセス品、新プロセス品ともに順調に推移
炭素材料	活性炭の高付加価値品の販売量が増え、順調に推移
繊維	ビニロンの数量が増大したが、一部原燃料価格上昇の影響を受けた。生活資材は<クラフレックス>の高付加価値品の拡販が進み、順調に推移

2017年度キャッシュフロー

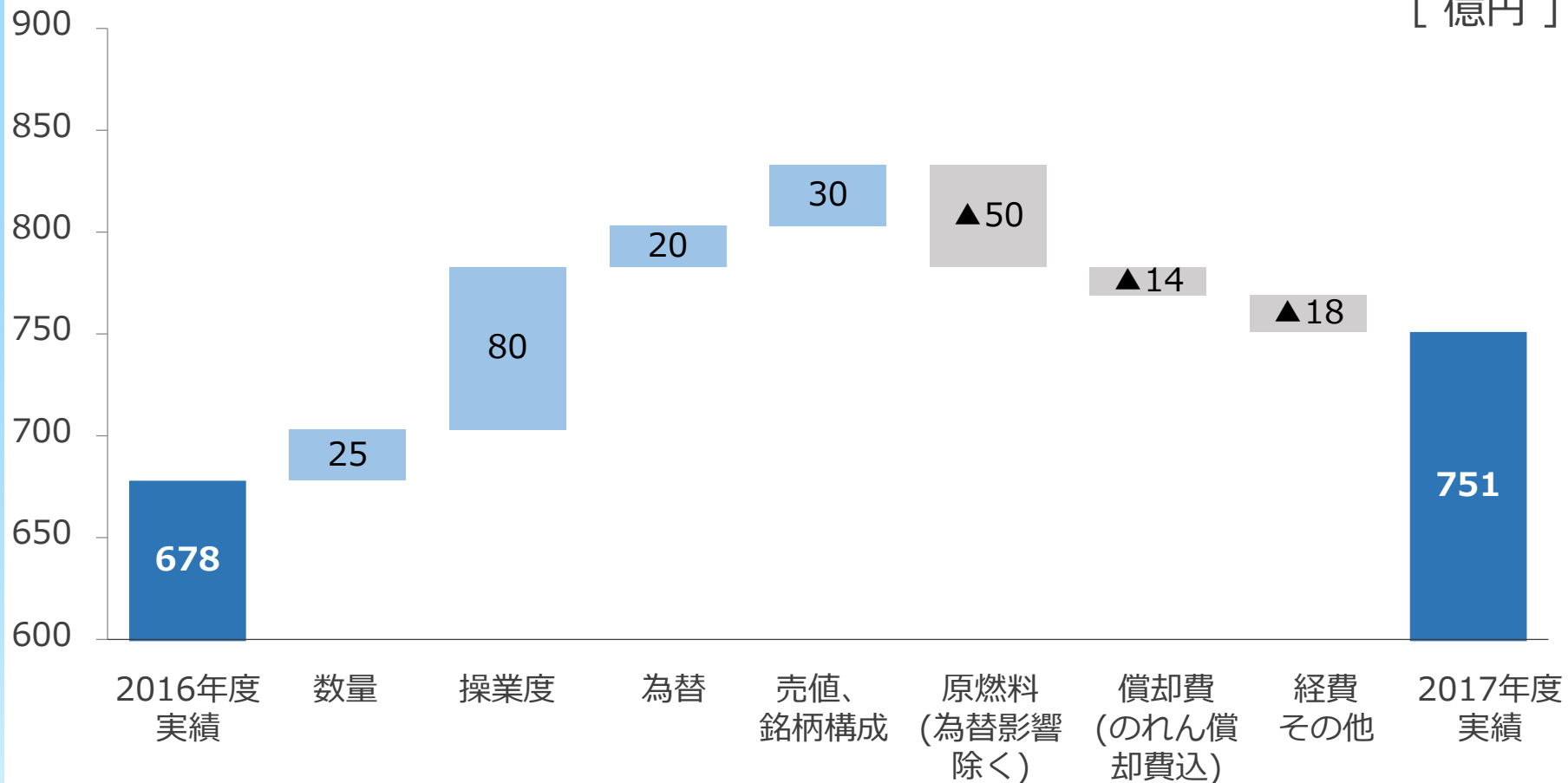
[億円]

	2017年度	2016年度	増減
営業CF	846	939	▲93
投資CF*	▲580	▲523	▲57
フリーCF*	266	416	▲150
M&A	0	0	0
1株当たり当期純利益	152円41銭	114円98銭	37円43銭 (32.6%)
1株当たり純資産	1,584円78銭	1,459円34銭	125円44銭 (8.6%)
設備投資(決定ベース)	547	489	58
設備投資(受入ベース)	545	536	9
減価償却費	430	416	14
研究開発費	210	198	12

*投資CF、フリーCF：運用資金、M&A関連を除く

営業利益増減分析

[億円]



	16年度実績	17年度実績
国産ナフサ/kl	33千円	39千円
ドル (平均)	109円	112円
ユーロ (平均)	120円	127円

貸借対照表①(資産の部)

[億円]

	17年12月末	16年12月末	増減
流動資産	3,595	3,250	345
固定資産	4,163	4,005	158
資産合計	7,757	7,254	503

<参考> 期末日為替レート

	17.12末	16.12末
円/ドル	113	116
円/ユーロ	135	123

貸借対照表②(負債の部)

[億円]

	17年12月末	16年12月末	増減
流動負債	1,081	961	120
固定負債	1,032	1,083	▲51
負債合計	2,112	2,045	67
純資産合計	5,645	5,210	435
負債・純資産合計	7,757	7,254	503

＜参考＞ 期末日為替レート

	17.12末	16.12末
円/ドル	113	116
円/ユーロ	135	123

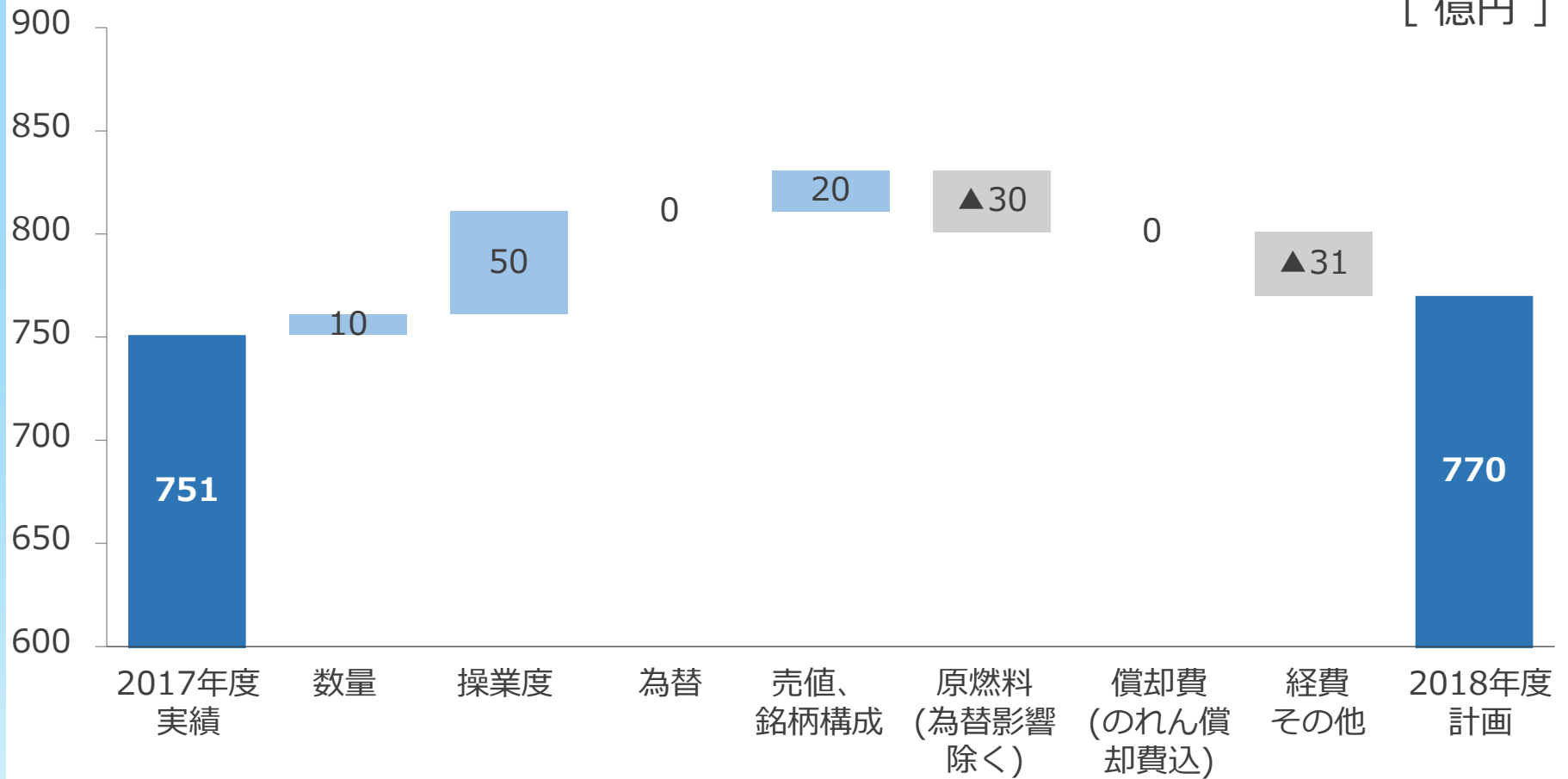
2018年度業績予想

[億円]

	2018年度 通期予想	2017年度 通期実績	増減
売上高	5,400	5,184	216
営業利益	770	751	19
経常利益	750	730	20
当期純利益	490	536	▲46
1株当たり当期純利益	139円67銭	152円41銭	▲12円74銭
1株当たり配当	42円	42円	0円
設備投資(決定ベース)	1,000	547	453
設備投資(受入ベース)	500	545	▲45
減価償却費(のれん償却費込)	431	430	1
研究開発費	225	210	15

営業利益増減分析

[億円]



	17年度実績	18年度前提
国産ナフサ/kl	39千円	43千円
ドル (平均)	112円	110円
ユーロ (平均)	127円	130円

セグメント変更について

旧セグメント（～2017年12月期）

ビニルアセテート	変更なし
イソプレン	変更なし
機能材料	メタクリル メディカル <クラリーノ> 炭素材料(含、エネルギー 材料事業)
繊維	繊維資材 生活資材
トレーディング	変更なし
その他	変更なし



新セグメント（2018年12月期～）

ビニルアセテート	変更なし
イソプレン	変更なし
機能材料	メタクリル メディカル 炭素材料(含、エネルギー 材料事業)
繊維	<クラリーノ> 繊維資材 生活資材
トレーディング	変更なし
その他	変更なし

セグメント別売上高・営業利益（新セグメント）

[億円]

	①2018年度		②2018年度 変更影響額*		③2017年度		増減(①－③)	
	売上高	営業利益	影響額	変更前利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	2,820	585	▲65	650	2,669	613	151	▲28
イソプレン	590	90	—	—	564	84	26	6
機能材料	590	65	—	—	552	63	38	2
繊維	680	75	—	—	664	72	16	3
トレーディング	1,350	45	—	—	1,288	39	62	6
その他	510	35	—	—	542	33	▲32	2
調整額	▲1,140	▲125	+65	▲190	▲1,095	▲153	▲45	28
合計	5,400	770	—	—	5,184	751	216	19

* 2018年度より償却方法及び間接費配賦方法を変更しました。影響額は記載の通りです。

なお、当表ではクラリーノ事業のセグメント区分変更後の2018年度業績予想と2017年度組み替え実績を対比しています。

【ご参考】 2018年度業績予想

[億円]

	18年度 通期予想		17年度 通期実績		増減	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	2,670	2,730	2,513	2,671	157	59
営業利益	360	410	375	376	▲15	34
経常利益	350	400	363	367	▲13	33
当期純利益*	230	260	240	296	▲10	▲36

*親会社株主に帰属する当期純利益

【ご参考】2018年度セグメント別予想（新セグメント）

[億円]

	売上高			営業利益		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ビニルアセテート	1,390	1,430	2,820	285	300	585
イソプレン	290	300	590	35	55	90
機能材料	290	300	590	30	35	65
繊維	350	330	680	33	42	75
トレーディング	660	690	1,350	22	23	45
その他	240	270	510	17	18	35
調整額	▲550	▲590	▲1,140	▲62	▲63	▲125
合計	2,670	2,730	5,400	360	410	770

※当表ではクラリーノ事業のセグメント区分変更後の2018年度業績予想を示しています。

【ご参考】セグメント別売上高（新セグメント）

[億円]

	2018年度 通期予想		2017年度 通期実績		増減	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
ビニルアセテート	1,390	1,430	1,285	1,384	105	46
イソプレン	290	300	280	284	10	16
機能材料	290	300	271	281	19	19
繊維	350	330	339	325	11	5
トレーディング	660	690	627	662	33	28
その他	240	270	237	305	3	▲35
調整額	▲550	▲590	▲526	▲569	▲24	▲21
合計	2,670	2,730	2,513	2,671	157	59

* 当表ではクラリーノ事業のセグメント区分変更後の2018年度業績予想と2017年度組み替え実績を対比しています。

【ご参考】セグメント別営業利益（新セグメント）

[億円]

	2018年度 通期予想		2017年度 通期実績		増減	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
ビニルアセテート	285	300	313	300	▲28	0
イソプレン	35	55	41	43	▲6	12
機能材料	30	35	28	35	2	0
繊維	33	42	36	37	▲3	5
トレーディング	22	23	19	20	3	3
その他	17	18	14	19	3	▲1
調整額	▲62	▲63	▲76	▲77	14	14
合計	360	410	375	376	▲15	34

* 2018年度より償却方法及び間接費配賦方法を変更し、当説明資料18ページに記載の通り一部利益に影響が出ています。
 なお、当表ではクラリーノ事業のセグメント区分変更後の2018年度業績予想と2017年度組み替え実績を対比しています。

未来に化ける新素材。

kuraray

金額表示は億円未満四捨五入にしております。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。